

法医学教室で法医解剖（司法解剖、警察等が取り扱う死体の死因又は
身元の調査等に関する法律に基づく解剖）を受けた方のご遺族の方へ
-医学系研究に対するご協力のお願ひ-

法医学教室では、以下の医学系研究を実施しております。この研究は、通常の法医解剖で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究の研究計画書の閲覧を希望される方、また個人情報に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 解剖事例における毛髪および爪由来のストレスホルモン値の診断的意義

[研究機関] 奈良県立医科大学（学長 細井裕司）

[研究責任者] 工藤利彩（奈良県立医科大学法医学教室 講師）

[研究の目的・概要] ストレスホルモンの1つであるコルチゾールの血中濃度は、心理的・身体的ストレスにより上昇することが知られています。また、先行研究により、コルチゾールは、血液のみならず、唾液や毛髪、爪からも検出が可能ですが、血中や唾液中のコルチゾール値は日内変動の影響を受けやすく、直近のストレスの影響を反映しているのに対し、毛髪や爪に含まれるコルチゾールは過去からの分泌量を反映しており、慢性的なストレスの指標となり得ることが知られています。そこで、本研究では、当教室の解剖事例における血中・毛髪および爪由来のストレスホルモン値を測定し、ストレス評価の指標としての有用性を検討することを目的としています。本研究で得られた結果は、社会における虐待や過労死の防止対策に役立つものと思われま

す。なお、本研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会による審査・承認、学長による許可を得て実施します。

[研究実施期間] 実施承認後から2030年3月31日まで

[研究の方法]

- 対象となる方 2009年1月1日から2023年12月31日までに法医解剖を受けた方
- 利用する解剖検査記録情報
 - 年齢、性別、発見された月、発見までの時間、死因、血中・尿中のアルコール濃度、既往歴等を集計します。
- 利用する試料
 - 解剖時に採取された血液、毛髪、爪

[個人情報の取り扱い] 利用する情報からは、お名前、住所など、解剖を受けた方を直接特定できる個人情報等を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も解剖を受けた方を特定できる個人情報等は利用しません。

※上記の研究に解剖検査記録情報および試料を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

〒634-8521 奈良県橿原市四条 840

奈良県立医科大学法医学教室 担当 工藤利彩

電話 0744-22-3051 (内線 2234) E-mail: legalm@naramed-u.ac.jp